

第 188 回富山県都市計画審議会

日時 令和5年8月29日(火) 14:00～

場所 富山県民会館 701 号室

1. 開会

(司会) それでは皆さんおそろいようですので、ただいまより第 188 回富山県都市計画審議会を開催いたします。開会に先立ちまして、審議会の定足数について申し上げます。本日出席予定の山中委員については、所用のため、急遽欠席されておりますが、委員及び議事に関係のある臨時委員 20 名のうち 12 名、ご出席いただいております。半数以上のご出席ですので、富山県都市計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、本日の審議会は有効に成立する旨、ご報告いたします。ここで人事異動に伴う委員の交代により、前回開催以降、新たにご就任いただいた方を、本日ご欠席の方を含めまして、ご紹介させていただきます。北陸地方整備局長の遠藤仁彦様。本日は松川事業調査官に代理出席していただいております。続いて、北陸信越運輸局長の佐橋真人様。中部経済産業局長の寺村英信様でございます。それでは、配付資料の確認を念のためさせていただきます。皆様のお手元には、会議次第、配席図、審議会委員名簿。それから本日の議案書、その他、条例等の関係例規等をお配りしております。配布漏れ等がありましたらお申しつけください。なお、本審議会は富山県都市計画審議会運営要綱第 5 条第 1 項に基づき、原則公開といたしております。詳細につきましてはお手元の資料をご覧ください。また本審議会の審議結果及び議事録につきましては、審議会終了後に、県のホームページにて掲載させていただく予定です。それではこの後の進行につきましては、高山会長にお願いいたします。

(会長) はい。皆さんこんにちは。会長を仰せつかっております高山でございます。大変暑い日が続きますね。もうどうなっているのかと思うぐらい、毎日毎日暑くて。私、石川県金沢市におりますけれど、おそらく、富山もほとんど変わらないのかなと。この 1 ヶ月間ぐらい、数えるほどしか雨が降っていませんし、その雨も、豪雨の時はありましたけど、それを除けば、もうほとんどばらばら程度かなと。テレビのニュースで見えておりますと、お隣の新潟県は、川が干上がって、田んぼの稲のためにトラックで水を運んでいるとのこと、大変だなと思いつつ聞いておりました。でも、天気予報を見ると、あと 1 週間ぐらいもう晴ればっかりで、30 度越えあるいは猛暑日になる可能性のある日も随分多いのかなとこんなふうに思っております。

さて、今日は議案が 1 件だけで、富山高岡広域都市計画道路の変更という内

容です。主に高岡市内の道路、3路線について、今日は変更内容の審議をいただくということになっておりますので、慎重にご審議いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。それではまず、議事録署名委員を指名したいと思います。今日は土開委員と島委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。議事録がまとまりましたら、署名をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それでは議案について、議案第1号、富山高岡広域都市計画道路の変更内容の説明を事務局、お願いいたします。

2. 議事

議案第1号 富山高岡広域都市計画道路の変更

(事務局) 都市計画課長の横田でございます。本当に暑い日が続いておりますが、そのような中、高山会長はじめ委員の皆様には、本審議会にご参集賜りまして誠にありがとうございます。本格的な少子高齢化、社会情勢が今、目まぐるしく変化する中で都市計画行政の担う役割、ますます大きくなってきていると思っております。

先ほど会長の方からも話ありましたが、本日は、富山高岡広域都市計画道路の変更について審議することになっておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。では議案第1号につきまして、事務局の方よりご説明させていただきます。

(事務局から議案第1号について説明)

(会長) ただいま事務局から内容変更の説明をいただきましたが、何かご意見なりご質問があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。何かございますか。はいどうぞ。

(委員) 一つ教えてください。廃止となった伏木線の未整備となっていた区間の写真が出ておりますが、そこに関しては住民の方の安全面というか、この辺に関しては、全く問題なしでよろしかったでしょうか。

(事務局) 当時は、この道路を伏木港の方に向かう道路としての位置付けもありましたが、この後、臨港道路として、例えば伏木万葉橋ですとか、そういった臨港道路が整備されたことから、主に物流のトラックといたしますか、そういったものは臨港道路に機能が移っているのが現状でございます。もともと計画していた伏木線は、現在で言えば、地域住民の方のための地域の道路のような位置付けになっておりますので、今回都市計画の決定の中を変更し、廃止しても、特に安全面での

影響はないものと考えております。

(委員) はい。よくわかりました。ありがとうございました。

(会長) はい。他いかがでしょうか。よろしいですか。他にご意見は？はいどうぞ。

(委員) ちょっと教えてください。今日出たパワーポイントの最後のページですが、見直しの方針案を作成して縦覧という流れですけれども、見直しの方針案を作成して、時間的にどのぐらいの時間がかかるのでしょうか。審議によって時間はかかると思いますが、どのようなタイムスケジュールで計算したのですか。

(事務局) 表の一番左側にあります見直し方針の策定というところが令和 3 年ごろから始めておりまして、約 2 年間かけまして、この左の方から順々に案を作ってきたというものでございます。それで、住民の皆さんへは、今年の 1 月にそれぞれの地区で住民説明会を行っておりまして、その後、今年の 3 月に、縦覧をしまして、今回に至っている、というようなスケジュール感になっております。

(委員) なぜ、こういう話を聞いたかといいますと、私も過去において、私の地域で、今から 40、50 年前になるんですけど、都市計画道路があったんですよ。地主さんと、上家を持っている住民が違うんです。そうすると地主さんは売りたいんですけど売ることができない。そこに住んでいる方は建て替えたいのに、建て替えができない。非常に困りまして、最終的に都市計画道路の廃止を願い出て、長らく経ちます。そういったことで、タイムスケジュール的に、おそらく住民の土地の所有者の方ですね、非常に時間がかかるとそれだけ遅くなりますので、どのようなタイムスケジュールでやるのかなと思ったんですけど。

(事務局) 高岡市の方でも、都市計画道路がなかなか整備されなくて、長年放置されているものがあります。今後も人口が減って、道路を整備する見通しが前よりも立たなくなってきたり、また必要性も当時よりも薄れてきているような路線も、次第に出てきたと。そういった中で、平成 17 年から、これまで長年にわたって未着手だった路線を、見直していきましょうということになり、順次、地区ごとに見直しを進めて参りまして、ちょっと時間がかかりましたけど、今回はこの博労地区と伏木地区の見直しというところに至ったわけです。今回この地区の見直しが終われば高岡市については地区ごとの見直しについては、概ね一通り終えるような格好になります。今後、個別の路線については、またその情勢の変化によって随時見直しになってくるのですが、一応高岡市としては、市内全域での見直

しが一つの区切りになるのかなというふうに思っております。

(会長) 他いかがでしょうか。ありませんかね。はい。
それでは意見、二つありましたけど、議案第1号、富山高岡広域都市計画道路の変更についてお諮りしたいと思います。いかがでしょうか。特に反対という意見がなかったようですので、議案を原案通り議決するということで、考えておりますが、異議がある方おられますか。はい。異議なしということで、本議案については原案通り議決したということにしたいと思います。どうもありがとうございました。

今日はこの1件だけですが、この際ですから、何か各委員から県に対してあるいは都市計画審議会に対して要望なり、ご意見がありましたらお受けしたいと思いますけど、いかがでしょうか。特にありませんか。

特にご意見がないようですので、本日の議事はこれですべて終了しました。議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございます。それでは進行事務局にお返ししますので、よろしく願いいたします。

3. 閉会

(司会) 高山会長ありがとうございました。それではこれをもちまして、第188回富山県都市計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

令和5年8月29日

富山県都市計画審議会長 高山 純一

議事録署名人委員

富山県都市計画審議会委員 土開 由香

富山県都市計画審議会委員 島 幸美